令和５年度第３回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

１　開催日　　令和５年１０月１９日（木）午前１０時００分～１２時００分

２　開催場所　中央公民館２階　203・204会議室

３　出席者　　委員７名、事務局３名、傍聴人０人

４　議事　　　・令和４年度に実施したパブリック・コメント手続の個別評価（案件No.４～５）及び全体評価について

　　　　　　　・パブリック・コメント手続の運用状況評価について

○事務局　　　　　　ただ今より、令和５年度第３回宝塚市パブリック・コメント審議会を開催する。本日の出席者は委員８名中６名で過半数出席となり審議会は成立。傍聴者は０名。

○会長　　　　　　　それでは議事に入る。本日はNo.４～５について評価する。まず、１つ目の案件であるNo.４「宝塚市地域公共交通計画（案）」について、各委員より評価をいただく。

○委員　　　　　　　この案件は、お金と手間をかけていて分かりやすく読みやすい。色合いも良い。Ｎｏ.1と異なり市民の関心がある内容である。現状を知る上では把握しやすく、内容も活用できるものである。バス網の発達は、南部に限られていることが分かった。公共交通の維持には市民が利用しなければならないことが理解できた。

個人的には、計画本編で地域のコミュニティバスの失敗した事例も掲載した方が良い。バス事業における運転手不足は、路線廃止など深刻な問題である。

パブコメとしては、わかりやすく読みやすい点でよくできている。

○会長　　　　　　　カラー印刷は、よい印象を与えるようだ。写真もモノクロよりカラー

の方が鮮やかとなり見やすい。

○委員　　　　　　　駅前バス・タクシー乗場整備事業についてはあまり進んでいない。

　　　　　　　　　遅れている現状を知って、とても驚いた。スマートシティ、コンパクト

シティなど考えると、市も様々な課題に取り組まなければならない。

　以前に、免許返納した高齢者等が主にバスを利用していたことを聞

いたことがある。バス路線の廃止等の問題は、市と住民との話し合いが

必要である。

他市の地域ボランティア輸送についての記載もある。以前カーボラ

ンティアをしていたが、今後を考えると、本市においても地域ボランテ

ィアの必要性を感じる。

○委員　　　　　　　駅近に居住していることからバスを使わない環境で育った。この案

件は、図表も色分けされていて見やすい。すごく見易かった。

　地域の高齢者と話す機会があり、バスの停留場がない。利用者が見

込めないので、バス路線の廃止となるとか。パーソナルモビリティで、

　　　　　　　　　利用したいときにタクシー事業者から断られる場合もある。そんな内

容も計画に記載されていたが、もっと詳しい記載があればよい。

○委員　　　　　　　私自身はバスを利用していない。市の交通状況は把握していない。色々な図表や写真があって、とても見易かった。市がこのような政策をしている現状が分かった。

○委員　　　　　　　次の点について担当課に対して指摘して欲しい。巻末資料10頁、13頁の計算式に誤字脱字と思われるものがある（計算式に誤りがあれば修正願う）。

カラー資料は分かりやすく、見やすい。地図についても地理情報があり、瞬時に分かる。資料として伝えるには、カラー印刷は分かりやすい。活動機会の資料の数値化について、概要版には記載されていない。

本市の課題として、概要版の中で関連事項の詳しい説明が不足している。概要版の項目５に掲げた課題がどの施策と結びついているのか、関連付けた説明が不足している（対応関係）。

全体的に意見に対する市の回答は、丁寧に行われている。しかし、かみ合っていない箇所が散見される（100％の目標値は違和感がある）。

市民の意見で「分かりにくい」という意見に対する市の回答（原案のとおり）に誠実さが欠ける。計画の内容に変更が生じるのではないので、「分かりにくい」と指摘されているなら、分かりやすく修正することも可能だったのではないか。

○会長　　　　　　　キャッチコピーとパブコメ対象案件の計画案がすっと繋がるのか、いささか気になった。意見募集で、｢３計画案のポイント｣があっさりし過ぎた内容である。概要版はカラー印刷で、コンパクトに纏められている。

資料は誰に向いて作られているのか。誰に読んでもらいたいのか。

本編でこの計画と種々のマスタープランの関係が出てくるのだが、具体的に計画のどこがどう連携しているのかが分からない。市の中で種々のマスタープランとの関係で公共交通がきちんと位置づけされているのか、疑問に思った。

　　　　　　　　　　ＰＤＣＡサイクルを回していくというが、ＰＤＣＡサイクルの時期の記載はあるが、もう少しどのように実現していくのかという詳しい説明があった方が良い。

　　　　　　　　　　他に意見はあるか。

○委員　　　　　　　見ている点が委員間で異なっている、意見が色々あることを知った。

〇委員　　　　　　　全体として、市の回答で「検討します」、「見直します」の前にいつまでにするという具体的時期を示して欲しい。

○委員　　　　　　　計画案の審議会委員は、専門家である。担当部署は作成に苦労したのではないか。

○委員　　　　　　　委員の意見が反映されているのであろう。

○会長　　　　　　　人手不足、採算問題などに関心があるのか。

○委員　　　　　　　データは、委員が所属している会社発出のものであるのか。

○会長　　　　　　　オープンのものやそうでないものもあるだろう。

○委員　　　　　　　数値目標100％は、違和感がある。分かりやすい補足説明が不足している。

○委員　　　　　　　数値目標100％は、理想としては理解できるが実現性のある数値を設定しても良かったのではないか。目標が高過ぎる数値目標は、計画案自体の信頼性を損なう可能性がある。もう少し詰めをするべきである。

別の委員から具体的に書くという意見があったが、計画案の性質上限界があるのではないか。計画によっては定めた数値目標が法的義務に近い強い拘束力を持つものもあり、仕方ないのではないか。

　　　　　　　　　　数式の提示は、客観的根拠を明らかにして説明している体裁をとっている。

○会長　　　　　　　公共交通の計画案は、市民にとって関心のある計画であると同時に、科学的根拠に基づいた、専門性の高い内容の計画案であり、市民から見る視点と異なる。市民向け、専門家向けの両面を備えた計画案としなければならないわけで、そのような点を踏まえて作成に工夫することが求められるのではないか。

　　　　　　　　　　評価の修正はあるか。

　　　　　　　　　　「Ａ」でよろしいか。

　　　　　　　　　委員了承→「Ａ」とします。

○会長　　　　　　　担当課に資料の数式等について確認し、訂正等があれば処理するようにお願いする。

　　　　　　　　　　それでは、No.５「第３次宝塚市人権教育及び人権啓発基本方針（改定案）」について、評価を始めます。

〇委員　　　　　　　人権問題について概括的に記載されている。市は部落差別について取り上げられている。障碍について、身体障碍者に関することが中心となっている。知的・精神障碍のことについても取り上げて欲しい。女性・男性差別にかかわらず、このような問題は難しいと感じた。人権を細かく検討して欲しかった。

〇委員　　　　　　　部落差別など細かく図表が作成されていて分かりやすかった。同和問題について数値化されている。親として正解がなく難しい問題であることが分かった。

〇会長　　　　　　　指摘は分かるが、審議会として計画案の中身は審議範囲外であるので、事務局から担当課に委員の意見として伝えて欲しい。

〇委員　　　　　　　全体として市の取り組みは、分かる。ただ、文字数が多くて読みづらかった。作成した努力は認めるが、もう少し分かりやすく工夫して欲しい。コンパクトにできなかったのか。

〇委員　　　　　　　民生委員をしているので身近な問題であることは認識している。何が差別であるのか、ということの記載はある。文字だらけでまとまりがない体裁（概要版等）となっている。概要版を見て、そのうえで対応する本編を見てやっと内容が分かるという体裁になっている。概要版を見ただけではパブコメすることは難しい。内容的に図表を入れることは難しいのではないか。

〇委員　　　　　　　この計画案は、第６次総合計画と整合性がある計画であり評価できる。女性の人権問題（女性差別）で、管理職が少ない等の問題をいかに解消するか取り組むべき課題である。

〇委員　　　　　　　パブコメに対する市の応答について問題がある。整合性に欠ける箇所が見受けられる。市の応答（Ｎｏ.6～9）がコピーアンドペーストのようになっている。真面目に答えていない、誠実でないと市民から受け取られる。一辺倒の市の応答は、工夫して、趣旨が似ている質問で

あっても答えの文言を変えるぐらいの誠実さは欲しい。

　　　　　　　　　　概要版は、文字数が多く可読性に欠ける。内容について並列的に事柄を並べるのではなく、重みを付けて分かりやすくするなど工夫して欲しい。情報量の選択、メリハリをつけて作成して欲しい。

　　　　　　　　　　重点施策の配置の仕方について工夫して欲しい。

　　　　　　　　　　時代等に合わせた上で、重点施策の見直しをしてはどうか。そのような柔軟さを市は持ってもいいのではないか。

○会長　　　　　　　計画案の体裁に問題がある。市民に読んでもらう姿勢で作成して欲しい。計画案の性質上文字数が多くなることは理解できるが、読みやすさという点で配慮が欠けている。読んでいてすごく疲れる。読みやすさ、分かりやすさに工夫をして欲しい。

概要版も概要版としての内容となっていない。読みやすさに配慮がない。メリハリをつけたものにして欲しい。

パブコメに対する市の応答がかみ合っていない箇所が多すぎる。答えにくいことは分かるが、適切に回答するべきである。

基本方針なので仕方ないが、具体的に何をするのかという内容の記載がない。関心のある人が、どこ・何を見ればより具体的なことが分かるのか辿るための工夫を検討して欲しい。この計画案は、読むのにとても疲れた。

〇事務局　　　　　　市の応答について、昨年度の審議会において指摘を受けた。よって、職員向けマニュアル第６版（令和５年６月改訂）を改訂した。今年度からこのマニュアルを用いてパブコメをすることになるので、来年度にはこのようなことが改善されると思う。

○会長　　　　　　　全体を通して何か意見はあるか。

○委員　　　　　　　市は、人権について重点的に取り組むべき内容を明らかにして欲しい。障碍のある子どもを診てもらう病院が市外にしかない現状がある。個人的に子どもにやさしい社会をめざして欲しい。

○会長　　　　　　　今の委員からの意見は本審議会の審議範囲外なので、事務局から伝えていただく。また、ぜひ次回パブコメ時にはそういう趣旨のご意見を提出していただきたい。

　　　　　　　　　　評価に入ります。評価について変更される方はいますか。

〇委員　　　　　　　「Ｂ」→「Ｃ」に変更する。

○委員　　　　　　　施策の難易度があるのではないか。

〇会長　　　　　　　施策の難易度は計画案の内容に踏み込むこととなり、パブコメ手続きでの評価において考慮する必要ないでしょう。

〇委員　　　　　　　「Ｂ」→「Ｃ」に変更する。

〇会長　　　　　　　「Ｂ」でよろしいか。

委員了承する。「Ｂ」とする。

　　　　　　　　　　次の議題である「パブリック・コメントの運用状況について」、事務局は簡単に説明を願う。

○事務局　　　　　　パブリック・コメントを実施しなければならないような、市の重要案件を審議する都市経営会議の議題を調査したが、令和４年度にパブリック・コメントを実施しなければならないにもかかわらず、実施していなかった案件はない。

○会長　　　　　　　それでは評価結果を踏まえて、個別評価、総合評価を整理、纏めて答申書を作成する。答申案については、私、副会長、事務局とでたたき台を作成する。できれば、原案を事前に委員の皆さんにお送りし、次回審議することとしたい。

次に、事務局から今後のスケジュールについて説明を願う。

○事務局　　　　　　まず、答申書の提出は、１２月２６日（火）を予定している。市長と

の意見交換の時間がある。現時点で都合の悪い委員はいるのか。いな

いということなので、予定を入れておいてください。次回は、１１月

９日（木）、場所はこの場所となる。都合の悪い委員は、電話、メール

でも構わないので、連絡を願う。

○会長　　　　　　　それでは次回宜しくお願いする。本日はこれにて審議会を終了する。